

## 認知症施策推進計画 意見照会シート（認知症専門部会）

計画の基本的施策	取組のイメージ	練馬区で実施している 主な事業	当事者の声	計画策定に向けた意見
1 認知症のある人に関する理解の増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座</li> <li>子ども世代への理解普及</li> <li>本人・家族の施策への参画</li> <li>希望大使など本人発信支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座</li> <li>N-impro（ニンプロ）</li> <li>認知症パネル展、図書館特別展示</li> <li>認知症フォーラム</li> <li>映画上映会と当事者による講演会</li> <li>介護学べるサロン</li> </ul>	<p>家族：認知症になっても怖くない・変わらないことを伝えたい。</p> <p>家族：地域住民も含め、皆が「新しい認知症観」の考え方になっていかないといけない。</p> <p>事業者：学校や子育て世代に情報が行き届くとよい。</p>	
2 社会参加の機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>活躍の場の創出</li> <li>本人と、企業など多様な主体の話し合い</li> <li>若年性認知症の支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームオレンジ活動</li> <li>認知症サポーター養成講座（再掲）</li> <li>N-impro（ニンプロ）（再掲）</li> </ul>	<p>本人：毎日散歩している。出るのは大事なことだよ（同意見多数）。</p> <p>本人：外出もストレスの一つ。ドキドキして頭が重くなる。</p> <p>家族：できることを明らかにすれば、まだまだやれることはある。</p> <p>家族：銭湯やプールなど（異性の家族が付き添えない場所）で、ちょっと見守ってくれると社会参加できるようになる。</p> <p>家族：（懇談会に）警察や商店街も参加してもらえるとよい。</p>	
3 生活におけるバリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動やサービス利用についてのバリアフリー</li> <li>分かりやすい情報提供</li> <li>本人を含めた地域ネットワーク</li> <li>チームオレンジ</li> <li>GPS活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>位置情報サービス利用料助成</li> <li>もの忘れ検診の運転免許活用</li> <li>ケアパス（認知症ガイドブック）作成</li> <li>高齢者在宅生活あんしん事業</li> <li>一人暮らし高齢者訪問支援事業</li> </ul>	<p>本人：迷子になるから行かないようにしているが、やっぱり歩きたい。</p> <p>本人：スマホについていけないと生活できない。レストランもタブレット。</p> <p>本人：認知症になって、カレンダーが分からなくなった。</p> <p>本人：火が怖いので湯せん専門。電子レンジは分からない。</p> <p>事業者：GPS端末は持ち歩くのが難しい。</p> <p>事業者：皆が集まれる場所を可視化してほしい。</p>	
4 意思決定の支援及び権利利益の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療介護関係者への意思決定支援研修</li> <li>ACP、終活</li> <li>地域福祉権利擁護事業</li> <li>成年後見制度の利用促進</li> <li>高齢者虐待、消費者被害防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座（再掲）</li> <li>N-impro（ニンプロ）（再掲）</li> <li>“もしも…”を考えるきっかけシート</li> <li>私の生き方ノート</li> <li>成年後見制度利用支援</li> <li>市民後見人養成研修</li> </ul>	<p>本人：（迷子になるから）外に出ると家族に怒られる。「道があるから歩いたんだ！」って言い返したよ。</p> <p>本人：娘が先回りして決めちゃう。良いんだらうけど、ついていけない。</p> <p>本人：家族は大変だと思うけど、家でずっと暮らし続けたい。</p> <p>家族：おひとり様への支援のシステムを構築して欲しい。</p> <p>事業者：家族の意向に流されがち。安全が絡むと難しい。</p>	
5 相談体制の整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>包括の相談支援機能向上</li> <li>認知症ケアパス</li> <li>認知症カフェ、家族会</li> <li>介護家族によるピア相談</li> <li>介護休業の制度周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護なんでも電話相談</li> <li>介護相談・交流カフェ</li> <li>認知症なんでも相談窓口</li> <li>認知症ケアパス（認知症ガイドブック）</li> <li>仕事と介護の両立チラシ</li> <li>家族会マップ・認知症カフェマップ</li> </ul>	<p>家族：不安は多いが、毎日パソコンで情報収集をしている。</p> <p>家族：家族会の存在が知られておらず、周知活動に限界。</p> <p>家族：包括から家族会を紹介してもらい、孤独が解消された。</p> <p>家族：ケアマネは相談相手としての役割が重要。</p> <p>家族：家族会に参加することで、考え方を変わってもらえると嬉しい。</p>	
6 認知症の早期の気づき、早期診断・早期支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症検診</li> <li>一般介護事業の認知機能低下を含むフレイル予防</li> <li>認知症疾患医療センターと連携した認知症低下予防</li> <li>初期集中支援チーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もの忘れ検診事業</li> <li>認知症予防講演会</li> <li>認知症予防プログラム（スマホで脳活、絵本読み聞かせ、脳活体操）</li> <li>認知症初期集中支援チーム</li> </ul>	<p>本人：知人に心配されて受診した。</p> <p>家族：職場で気づいて欲しい。診断後フォローがあると嬉しい。</p> <p>家族：夫は、認知症の症状が出てきたころ「何もできないんだ」と泣いていた。本人も気づいているみたい。</p> <p>事業者：軽度のうちに関わることが大切。</p>	
7 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービス基盤の整備</li> <li>介護人材の確保</li> <li>ニーズに応じた生活支援サービス</li> <li>認知症対応力の向上</li> <li>家族介護者の負担軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症医学講座</li> <li>医療介護連携推進員・認知症地域支援推進員の包括への配置</li> <li>認知症事例検討会、認知症対応研修（認知症疾患医療センター）</li> </ul>	<p>家族：在宅介護の限界、介護サービスの質の向上が必要</p> <p>事業者：多職種連携、事例検討会の必要性</p> <p>事業者：切れ目のない支援のための在宅と施設サービス職員の交流。</p> <p>事業者：認知症ケアパスの区民向け講座を開催し、介護サービスの役割を知ってもらいたい。</p> <p>事業者：（支援力向上のため）核心に触れるような事例検討会。</p>	